



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 萩原電気ホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7467 URL <https://www.hagiwara.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 守孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 平川 佳弘 TEL 052-931-3511  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	71,604	35.6	1,754	27.1	1,723	25.4	1,145	30.6
2021年3月期第2四半期	52,812	△15.3	1,380	△32.4	1,373	△31.4	876	△32.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,280百万円 (29.6%) 2021年3月期第2四半期 987百万円 (△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	129.48	—
2021年3月期第2四半期	99.20	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	73,813	37,845	48.4
2021年3月期	73,342	37,052	47.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 35,748百万円 2021年3月期 34,948百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2022年3月期	—	40.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	17.3	3,600	3.8	3,580	0.7	2,320	0.2	262.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	9,018,000株	2021年3月期	9,018,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	167,088株	2021年3月期	174,378株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	8,846,286株	2021年3月期2Q	8,839,214株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種の促進や感染症予防対策により一部地域では社会活動が正常に戻りつつあり、厳しい状況ではあるものの景気回復の兆しもみられました。一方、世界的な原材料価格の高騰や新型コロナウイルス感染症再拡大での景気減速の懸念は払拭できず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、足元では半導体や電子部品の供給不足により生産活動に影響が出始めておりますが、前年同四半期と比較して自動車生産台数は堅調に推移しました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は716億4百万円（前年同四半期比35.6%増）となり、営業利益は17億54百万円（前年同四半期比27.1%増）、経常利益は17億23百万円（前年同四半期比25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億45百万円（前年同四半期比30.6%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## (デバイス事業)

デバイス事業におきましては、電子制御が進む自動車向けシステムLSIなどの半導体や電子部品の販売及び技術支援、ソフトウェア事業、組込システムのP o C（概念実証）開発支援や受託開発事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前年同四半期と比較して、総じてワールドワイドでの自動車生産台数が増加した結果、デバイス事業の売上高は、611億38百万円（前年同四半期比41.2%増）、営業利益は11億88百万円（前年同四半期比29.6%増）となりました。

## (ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、IT機器、組込機器及び計測機器の販売からITプラットフォーム基盤構築及びDXソリューションの提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前年同四半期と比較して、主要顧客企業の生産の回復基調を受けた設備投資や情報化投資を取り込んだ結果、ソリューション事業の売上高は、104億66百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は5億66百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億71百万円増加し738億13百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5億37百万円増加し682億91百万円となりました。主な増減は、主要取引先の決済方法が電子記録債権に移行したこと等により、電子記録債権が115億10百万円増加した一方で受取手形、売掛金及び契約資産が175億64百万円減少しております。また、商品及び製品が53億14百万円、その他のうち前渡金が9億12百万円、未収入金が5億24百万円増加しております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて66百万円減少し55億21百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億21百万円減少し359億68百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7億45百万円減少し303億49百万円となりました。これは主に、短期借入金が11億34百万円、その他のうち前受金が10億56百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が25億21百万円、1年内返済予定の長期借入金が4億25百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4億24百万円増加し56億19百万円となりました。これは主に、長期借入金が3億75百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億92百万円増加し378億45百万円となりました。

この結果、自己資本比率は48.4%（前連結会計年度末は47.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,713	9,345
受取手形及び売掛金	38,478	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	20,914
電子記録債権	1,688	13,199
商品及び製品	16,389	21,703
仕掛品	408	535
原材料及び貯蔵品	240	389
その他	836	2,262
貸倒引当金	△2	△59
流動資産合計	67,753	68,291
固定資産		
有形固定資産	2,750	2,747
無形固定資産	186	168
投資その他の資産		
その他	2,651	2,605
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,651	2,605
固定資産合計	5,588	5,521
資産合計	73,342	73,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,295	14,773
電子記録債務	2,663	3,204
短期借入金	5,348	6,483
1年内返済予定の長期借入金	2,700	2,275
未払法人税等	604	580
その他	2,483	3,032
流動負債合計	31,095	30,349
固定負債		
長期借入金	4,875	5,250
その他	319	369
固定負債合計	5,194	5,619
負債合計	36,289	35,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,361	4,361
資本剰余金	4,868	4,872
利益剰余金	25,626	26,302
自己株式	△319	△305
株主資本合計	34,537	35,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414	371
為替換算調整勘定	103	247
退職給付に係る調整累計額	△107	△100
その他の包括利益累計額合計	410	518
非支配株主持分	2,103	2,096
純資産合計	37,052	37,845
負債純資産合計	73,342	73,813

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	52,812	71,604
売上原価	47,518	65,027
売上総利益	5,293	6,576
販売費及び一般管理費	3,913	4,822
営業利益	1,380	1,754
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	10	11
その他	75	25
営業外収益合計	92	46
営業外費用		
支払利息	16	18
為替差損	58	41
その他	22	18
営業外費用合計	98	78
経常利益	1,373	1,723
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	—	77
特別損失		
固定資産処分損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	1,373	1,795
法人税等	469	622
四半期純利益	904	1,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	876	1,145



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	904	1,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△43
為替換算調整勘定	△25	143
退職給付に係る調整額	20	7
その他の包括利益合計	83	107
四半期包括利益	987	1,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	960	1,252
非支配株主に係る四半期包括利益	27	27

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,373	1,795
減価償却費	119	137
固定資産除売却損益 (△は益)	0	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△46
受取利息及び受取配当金	△16	△21
支払利息	16	18
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△77
売上債権の増減額 (△は増加)	4,368	6,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△686	△5,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,224	△1,980
その他	△221	△1,000
小計	1,712	△554
利息及び配当金の受取額	16	22
利息の支払額	△15	△20
法人税等の支払額	△468	△555
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,245	△1,107
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の売却による収入	64	118
有形固定資産の取得による支出	△79	△70
無形固定資産の取得による支出	△43	△21
その他	21	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	77	1,134
長期借入れによる収入	2,400	1,300
長期借入金の返済による支出	△150	△1,350
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△482	△442
非支配株主への配当金の支払額	△34	△34
その他	△32	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,777	567
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,959	△368
現金及び現金同等物の期首残高	7,753	9,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,713	9,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社クロススペースは、2021年4月1日付で当社の連結子会社である萩原エレクトロニクス株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、システムの保守契約やライセンスのサブスクリプション契約等の一定期間にわたってサービスを提供することを履行義務とする契約において、従来は顧客の検取時点で収益を認識していましたが、履行義務が一定期間にわたり充足されると判断し、サービス提供期間にわたり定額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、全ての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は475百万円減少し、売上原価は441百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ33百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は28百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,292	9,519	52,812	—	52,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	35	98	△98	—
計	43,355	9,555	52,911	△98	52,812
セグメント利益	916	463	1,380	—	1,380

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,138	10,466	71,604	—	71,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	34	103	△103	—
計	61,206	10,501	71,708	△103	71,604
セグメント利益	1,188	566	1,754	—	1,754

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。